

グローバルイシューを考える

「人間の安全保障」のアプローチから考える開発途上国におけるマイクロ保険の重要性

Harry Caesar (ハリー・セイザー)

金沢大学人間社会学域・国際学類国際社会コース (インドネシア)

1) はじめに

すべての人は社会の一員として社会保障を受ける権利を持ち、なおかつ自己及び家族の健康・福祉に十分な生活水準を保持するための保障を受ける権利がある¹。しかし、WHO(世界健康機関)によると、おおよそ世界人口の 70%以上は十分な社会的保護が行き渡っておらず、世界人口の 40%は何らかの医療保険制度にも加入していない²。それに加え、高い医療費が原因で世界では毎年約 1,5 億人が経済的な困難に陥っており、約 1 億人が貧困のラインを下回っている³。

そんな状況の中で、近年では「人間の安全保障」という概念が国際社会の注目を集めており、健康および医療の保障を含め、一人一人の人間への安全保障が重要視されてきている。人間安全保障とは「人間一人ひとりに着目し、生存・生活・尊厳に対する広範かつ深刻な脅威から人々を守り、それぞれの持つ豊かな可能性を実現するために、保護と能力強化を通じて持続可能な個人の自立と社会づくりを促す考え」⁴である。具体的に、人間の安全保障への脅威は例えば、2011 年の東北大震災および福島第一原発の放射能漏れ事故、HIV/エイズといった「恐怖」や、貧困、飢餓、教育・保健医療サービスの欠如などの「欠乏」である。

本稿の最初に述べた状況を見ると、保険医療サービスの欠如への対策が必要だと考えられる。なぜかという、命に関わるような健康への危機があったと仮定すると、健康あるいは生命保険がなければ人々は経済的困窮に陥る可能性があり、そういう状況になると人間の安全保障が様々な面から影響されることになるからである。

しかし、開発途上国では国民の所得が比較的到低く、生命保険に加入するのに経済的な余地がない傾向にある。そこで、重要な役割を担うのがマイクロ保険である。本稿では開発途上国での人間の安全保障の実現に向けて、マイクロ保険の重要性を分析する。以下では、マイクロ保険の意義に触れてから、インドとインドネシアでのマイクロ保険の現状と課題を論じていく。最後に、バングラデシュでの事例をもとに、効果的なマイクロ保険の実現に必要な条件を提案する。

2) マイクロ保険の意義

¹ 日本外務省、「世界人権宣言(仮訳文)」。

² ILO(国際労働機関)、(2014年)。

³ World Health Organization. 2016.

⁴ 日本外務省、「人間の安全保障一分野をめぐる国際潮流」。

マイクロ保険は一般的に、一件あたりの保障額が少ない小規模な保険を指す。主な対象は従来の保険に加入することが難しい低所得者層、小規模事業主、インフォーマル・セクターで働く人々であり、生活上のリスクを回避・軽減するための手段として設計されている。また、ILO はマイクロ保険を「特定のリスクの発生確率及び発生に伴って生じるコストに見合った保険料と引き換えに、当該リスクに対する保障を提供する低所得者向け商品」⁵と定義している。要するに、マイクロ保険は特定の保険商品に限らず、「低所得者向け」という要素が重要である。

人間の安全保障の実現においてマイクロ保険は二つ役割を担っている。それは「社会保障制度の補完」、「貧困削減」の手段である。

ア) 社会保障制度の補完

2001年のILOのデータによると、社会保障を受けている労働者は世界の労働者の20%に過ぎないと推定されている⁶。また、サブサハラ、南アジアでは、労働者の5~10%しかカバーされていないと指摘されている。このような問題と本稿の最初に述べた問題を合わせて見ると、社会保障の整備への需要が高いと考えられる。マイクロ保険は、低所得者向けの生命保険という形で国が提供する社会保障・年金制度の代替機能およびリスクマネジメント機能を有する。

イ) 貧困削減

世界銀行によると、2016年時点で世界人口の10%は貧困のラインである2ドル以下で生活している⁷。近年では世界における貧困率は下がってきているものの、貧困の削減は依然として簡単な目標ではない。本稿で取り上げている人間の安全保障からのアプローチの他に、国際連合はSDGs（持続可能な開発）を通じて貧困の削減を促している⁸。しかし、2008年の経済危機により先進国の間では健全な財政の確保が困難で、貧困削減のためのODA（政府開発援助）への姿勢が消極的になってきている⁹。そのため、貧困削減への取り組みに、裕福な国が最貧困層に援助するという伝統的アプローチのほかに、マイクロ保険のような市場ベースのアプローチが必要になってきている。

3) アジアの開発途上国でのマイクロ保険の現状と課題

ア) インド

インドにおける社会保障への意識が高まったのは1990年代初頭からである。当時のナラシマ・ラオ政権による経済改革・開放政策によって、それまで国に管理されてきた外保険産業が自由化され、民間企業の参入も認められるようになった。この自由化をきっかけに、都市や農村の貧困地域を拠点とするNGO活動規制も緩和され、貧困削減への姿勢も積極的になっていった。また、当時は「社会保障にアクセスできない大多数の人口へ社会保障サービスが支給されるべき」という見解がインド中央政府を含む公的機関の間でも広がった¹⁰。そこで、1999年にIRDA（保険規制開発庁）が設立され2002年には農村社会セクター向けの商

⁵ International Labour Organization. 2008.

⁶ International Labour Organization. 2001.

⁷ World Bank. 2016.

⁸ United Nations. Sustainable Development Goals.

⁹ 国際連合（2013年）。

¹⁰ 茂木桂樹、大西洋也（2012年）、pp. 9-12。

品の販売が法的に義務付けられた。2005年のマイクロ保険規制の導入に伴い、マイクロ保険の市場が活発化していった。

実際、データ上ではインドにおける保険産業の成長が見られる。2001年度から2006年度にかけての保険料収入成長率は、生命保険で165.2%、損害保険で80.5%である¹¹。また、マイクロ保険市場単体では、2005年以降に成長が見られる。インドのマイクロ保険の潜在的な市場規模は、潜在顧客数が約5億人、潜在保険料収入額は12.5億～16.8億USドルだと見込まれている。

だが、国内におけるマイクロ保険の普及率は人口の9%にとどまり、まだ潜在的市場の14.7%を占めている(2014年時点)¹²。今後の成長が期待できるものの、マイクロ保険の事業継続に様々な課題が見られる。事例としては、「流通・販売コストの高さ」、「マーケティングの難しさ」、「データ不足による保険商品開発・保険料算定の難しさ」、「モラルハザード」などが挙げられる。茂木ら(2012年)の主張のように、これらの課題への対応としては国民の保険に対する意識、そして保険の知名度を高めることが重要で、保険教育の推進が効果的な対策だと考えられる。

イ) インドネシア

人口対比のカバー率では、インドネシアにおけるマイクロ保険は2010年から2012年にかけて、年間103%の成長率が見られる¹³。しかし、インドと違い、インドネシアにおけるマイクロ保険の発展は比較的遅い。その理由はスハルト政権の長年の開発独裁政治によって、マイクロ保険は発展しておらず、また近年まではマイクロ保険に関する政治的な方針がなかったからである。

そんな中で、2008年にAllianz(アリアンツ社)がマイクロ保険の事業を開拓し始めた。世界の大手保険会社であるAllianzの現地法人Asuransi Allianz Life Indonesiaは2006年にマイクロ保険の実験的販売を行い、2008年1月から本格的な展開を始めた。このように、インドネシアではマイクロ保険に対する政府の姿勢は消極的で、制度と法律が固まっていなかったまま市場が開拓された。今後、保険会社の間ではマイクロ保険のシェアを巡る競争が推定される。

4) 有効なマイクロ保険の実現のために

インドとインドネシアの事例から見ると、マイクロ保険を成功に導くためには政治的な意思と保険会社の積極性が必要で、産業と市場の開発には基盤となる制度や法律の設計も重要な要素である。そういった事業環境が整えると、政府・保険会社・NGOの協働が生まれやすくなる。では、なぜそういった協働が重要なのか。その理由は二つある。①運営・組織の面から政府とNGOが保険会社を援助すると取引コストの抑制ができるからである、②政府・NGOは保険リテラシーやマイクロ保険の教育を広めることにより、保険に対する国民の信頼が構築され、それが結果的にマイクロ保険への加入につながるからである。

以上で述べた政府・保険会社・NGOの連携というフレームワークに基づいた事例は、JICAと富国生命保険相互会社(以下、富国生命)及び特定非営利活動法人プラネットファイナンスジャパン(以下、PFJ)が2013年から実施されたバングラデシュでのマイクロ保険事業

¹¹ 茂木桂樹、大西洋也(2012年)、pp.13-18。

¹² Premasis Mukherjee, Arman Oza, Lisa Chassin and Rupalee Ruchismita. 2014. p. 4.

¹³ Premasis Mukherjee, Arman Oza, Lisa Chassin and Rupalee Ruchismita. 2014. p. 15.

の試みである。2013年12月から3年かけて、JICA・富国生命・PFJは現地調査を行い、死亡保険や医療保険などといった需要が見込める保険の種類や、長期契約が可能な保険料の水準などの把握に取り組んだ¹⁴。実際の保険販売は現地のマイクロファイナンス実施機関が担い、富国生命は商品設計や資産運用、財務管理のノウハウを提供していた。

実際、2015年9月に開始した試験販売では予想以上の好調であった。5ヶ月で3,000件超の販売達成し、2016年1月終了予定だった保険販売期間を1ヶ月早く終了することとなった。また、期間内では5支店の約8,000名を分母として約40%の加入率に達成した。この事業で行った調査と試験販売の結果からは現地の強い保険ニーズが見られる。この事業が成果を出したのは、JICAが富国生命とPFJに資金援助・政治的援助を提供し、政府・保険会社・NGOの協働が効果的だったからだと考えられる。

本稿では人間の安全保障という切り口でマイクロ保険の重要性に焦点を当ててみた。以上の議論から、開発途上国での低所得者層や貧困世帯は、様々なリスクから脆弱である。リスクへの対応手段の少なさ、そして費用の高さから、低所得者層は現在貧困ではなくても貧困に陥りやすい。それに対し、政府が提供する支援は少なく、社会保障制度も整っていない。人間の安全保障の実現のために、低所得者層・貧困層のためのセーフティネットとして、マイクロ保険は必要不可欠であろう。

参考文献

日本語

ILO（国際労働機関）（2014年）、『World social protection report（世界社会的保護報告）』2014/15年版概要日本語訳、

（http://www.ilo.org/tokyo/information/publications/WCMS_246566/lang--ja/index.htm）より、2018年10月12年参照。

JICA（国際協力機構）（2016年）、「http://open_jicareport.jica.go.jp/pdf/12284063.pdf」、「バンングラデシュ国 マイクロ保険事業の展開に係る事業準備調査(BOP ビジネス連携促進)報告書(先行公表版)」、

（http://open_jicareport.jica.go.jp/pdf/12284063.pdf）より、2018年10月12年参照。

SankeiBiz（2013年）、「富国生命、バンングラデシュ進出へ 貧困層向け小口保険の事業化調査」、（<http://www.sankeibiz.jp/business/news/130905/bse1309050502000-n1.htm>）より、2018年10月12日 参照。

雨森 孝悦（2010年）。「東南アジアのマイクロファイナンス、マイクロ保険における営利と非営利」、日本福祉大学経済論集 第41号、pp.65-86。

池田 香織（2011年）、「マイクロインシュアランスへの期待と展開」、損保ジャパン総研レポート、（<http://www.sjnk-ri.co.jp/issue/quarterly/data/qt59-1.pdf>）より、2018年10月12年参照。

¹⁴ 日本貿易振興機構（2016年）。

上田 秀明 (2010年)、「人間の安全保障」の発展」、産大法学 44 巻 2 号、
(http://ci.nii.ac.jp/els/contentscinii_20170926021041.pdf?id=ART0009487129) より、2018 年 10 月 12 年 参照。

金森 サヤ子 (2013年)、「保健医療分野の ODA 増で戦略的な外交と国際貢献を」、
nippon.com コラム、(<http://www.nippon.com/ja/column/g00104/>) より、2018 年
10 月 12 日 参照。

国際連合 (2013年)。「国連ミレニアム開発目標報告 2013」、
(http://www.unic.or.jp/files/MDG_Report_2013_JP.pdf) より、2018 年 10 月 12
年参照。

日本外務省、「ODA (政府開発援助)」、
(<http://www.mofa.go.jp/mofaj/gaiko/oda/shiryoyosan.html>) より、2018 年 10
月 13 年参照。

日本外務省、「世界人権宣言 (仮訳文)」、
(http://www.mofa.go.jp/mofaj/gaiko/udhr/1b_002.html) より、2018 年 10 月 11
年参照。

日本外務省、「人間の安全保障一分野をめぐる国際潮流」、
(<http://www.mofa.go.jp/mofaj/gaiko/oda/bunya/security/index.html>) より、
2018 年 10 月 12 年参照。

日本貿易振興機構 (2016年)、「BOP/ボリュームゾーン・ビジネス支援サービス、活用事
例集」、
([https://www.jetro.go.jp/ext_images/theme/bop/advice/pdf/jetrobop_jireishu
.pdf](https://www.jetro.go.jp/ext_images/theme/bop/advice/pdf/jetrobop_jireishu.pdf)) より、2018 年 10 月 12 年参照。

米澤 慶一 (2011年)、「マイクロインシュアランスの現状と課題」、
(http://www.nli-research.co.jp/files/topics/39130_ext_18_0.pdf?site=nli)
より、2018 年 10 月 13 年参照。

茂木 桂樹、大西 洋也 (2012年)、「インドにおけるマイクロ保険の社会的位置づけと
事業持続性 ～保険会社の活力を通じた社会保障システムの拡充～」、一般財団法人
国際開発センター 自主研究事業報告書、
(<http://www.idcj.or.jp/pdf/idcjr201101.pdf>) より、2018 年 10 月 13 年参照。

英語

Gilles Davignon. 2002. The Poor and their risk: How to alleviate Poverty by
reducing the Impact of Hazard - The MicroInsurance Promise. Retrieved from
([https://www.microfinancegateway.org/sites/default/files/mfg-en-paper-the-
poor-and-their-risk-how-to-alleviate-poverty-by-reducing-the-impact-of-
hazard-the-microinsurance-promise-2006.pdf](https://www.microfinancegateway.org/sites/default/files/mfg-en-paper-the-poor-and-their-risk-how-to-alleviate-poverty-by-reducing-the-impact-of-hazard-the-microinsurance-promise-2006.pdf)) on October 10, 2018.

Insurance Information Institute. 2017. Background on: microinsurance and emerging
markets. Retrieved from ([https://www.iii.org/article/background-on-
microinsurance-and-emerging-markets](https://www.iii.org/article/background-on-microinsurance-and-emerging-markets)) on October 11, 2018.

- International Labour Organization. Facts on Microinsurance. Retrieved from (<http://www.impactinsurance.org/about/facts-on-microinsurance>) on October 10, 2018.
- International Labour Organization. 2001. Social security: A new consensus. Retrieved from (http://www.ilo.org/wcmsp5/groups/public/---ed_protect/---soc_sec/documents/publication/wcms_209311.pdf) on October 10, 2018.
- International Labour Organization. 2008. INTRODUCTION TO MICROINSURANCE: Historical Perspective. Retrieved from (http://ilo.org/public/english/employment/mifacility/download/presentations/mconf2008_tomchinsky.pdf) on October 10, 2018.
- Jaime Alip, Enrique Navarro, and Mae Catibog. 2010. Status of Microinsurance in Southeast Asia: The Cases of Cambodia, the Philippines and Vietnam. Retrieved from (<http://www.microfinancegateway.org/sites/default/files/mfg-en-paper-status-of-microinsurance-in-southeast-asia-the-cases-of-cambodia-the-philippines-and-vietnam-2010.pdf>) on October 11, 2018.
- Lloyd' s. 2009. Insurance in developing countries. Retrieved from (<https://www.lloyds.com/news-and-insight/risk-insight/library/society-and-security/insurance-in-developing-countries>) on October 11, 2018.
- Microinsurance Network. 2017. United Nations and world' s microinsurance community forge unprecedented global partnership for sustainable development that leaves no one behind. Retrieved from (<http://microinsurancenetwork.org/groups/united-nations-and-world%E2%80%99s-microinsurance-community-forge-unprecedented-global-partnership>) on October 11, 2018.
- Premasis Mukherjee, Arman Oza, Lisa Chassin and Rupalee Ruchismita. 2014. The landscape of microinsurance in Asia and Oceania 2013. Retrieved from (http://www.microinsurancenetwork.org/sites/default/files/The_landscape_of_microinsurance_in_Asia_and_Oceania_2013_full_report.pdf) on October 12, 2018.
- Sudhir Anand. 2011. Human security and universal health insurance. Retrieved from ([http://www.thelancet.com/journals/lancet/article/PIIS0140-6736\(11\)61148-3/fulltext](http://www.thelancet.com/journals/lancet/article/PIIS0140-6736(11)61148-3/fulltext)) on October 11, 2018.
- United Nations, Human Security Unit. HUMAN SECURITY IN THEORY AND PRACTICE: An Overview of the Human Security Concept and the United Nations Trust Fund for Human Security. Retrieved from (http://www.un.org/humansecurity/sites/www.un.org.humansecurity/files/human_security_in_theory_and_practice_english.pdf) on October 12, 2018.
- United Nations. Sustainable Development Goals. Retrieved from (<http://www.un.org/sustainabledevelopment/sustainable-development-goals/>) on October 12, 2018.

World Bank. 2016. Poverty and Shared Prosperity 2016. Retrieved from (<http://www.worldbank.org/en/publication/poverty-and-shared-prosperity>) on October 13, 2018.

World Health Organization. 2016. Universal health coverage (UHC) - Fact sheet. Retrieved from (<http://www.who.int/mediacentre/factsheets/fs395/en/>) on October 13, 2018.